

東京理科大学こうよう会神奈川県支部
平成28年度 冬の何でもしゃべろう会。

開催日：平成29年1月28日（土）

参加人数：60名（会員43名、役員17名）

内 容

- 9：45 東京理科大学神楽坂キャンパス9号館前集合
- 10：00 近代科学資料館、数学体験館見学
- 11：00 ホテルグランドパレスに移動
- 12：00 講演「理科大生の素顔と彼らを待ち受ける社会～環境科学の側面から～」（加納誠先生）
- 13：00 ランチビュッフェ
- 14：30 終了

○報告

晴天に恵まれた中、9時30分過ぎから続々と参加者が集まり、10時から4つの班に分かれて近代科学資料館と数学体験館の見学を行いました。

近代科学資料館では理科大の歴史やゆかりの展示のほか、計算機の歴史などを、学生がわかりやすく丁寧に説明してくださいました。

数学体験館ではインストラクターの説明と実演が楽しく、参加者の方々も熱心に聞き入っていました。あっという間に時間が過ぎてしまい、まだまだ見学したかったという方もいらっしゃったようです。



見学終了後、ホテルグランドパレスに移動し、本支部顧問で東京理科大学非常勤講師をされている加納誠先生から「理科大生の素顔と彼らを待ち受ける社会～環境科学の側面から～」と題してご講演をいただきました。

各キャンパスでの学生の姿を紹介していただくとともに、先生が山口理科大学に赴任していらしたころのお話をしていただきました。さらに、地震が起きて津波が生じるメカニズムをはじめ、地球温暖化や集中豪雨、竜巻、原発事故など一昔前では考えられないようなことが起こっており、私たちを取り巻く環境は大きく変化しつつあること、そして日本がリーダーシップをとるべきであり、客観的事実に基づいた価値判断をすることが必要であるというお話がありました。

難しい内容もありましたが、とても分かり易くお話していただきました。

理科大生はまじめで実力があるが、もう少し積極性と英語力をつけてほしい。実力は認められているのだから自信をもって世界に出てほしいというメッセージもいただきました。



皆、真剣に加納先生のお話を聞いていました。

加納先生のご講演のあとは、待ちに待ったビュッフェのお食事。イタリアンやちらし寿司、おそばなどに加え、ローストビーフの実演もあり、おいしい料理に舌鼓。7つのテーブルに分かれていましたが、どのテーブルでも笑い声が絶えず、会話に花が咲きました。

以前のなんでもしゃべろう会で一緒だった人との再会などもあり、また、初めて参加された方もみんなと打ち解けて楽しいひと時を過ごしました。



今回はおやじ席も設け、おやじの会の PR もしました。

あっという間の1時間半、最後はデザートとコーヒーをいただきお開きとなりました。

神奈川県支部ではこれからも役員一同力を合わせ、みんなが楽しめる企画を考えていきたいと思えます。今回参加された方も、参加されなかった方も、是非、何でもしゃべろう会に参加して、親睦を深めていただきたいと思います。

